

平成29年8月吉日

下関市小学校PTA連合会
下関市中学校PTA連合会
各ブロック選出理事 各位

下関市PTA連合会
会長 佐々木 猛

日本PTA中国ブロック研究大会 広島県ふくやま大会 ご案内及び申込みについて

平素より下関市PTA連合会の活動にご理解、ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、既報のとおり「中国ブロックPTA研究大会 とっとり大会」が、別紙のとおり本年11月11日(土)に、ローズアリーナにて開催されます。

各ブロックにて参加者(参加申込票の下部の参加要請人数をご参照ください)をとりまとめたいただき、「参加申込票」にご記入(ご入力)の上、本年**9月12日(火)まで**に、**市P連事務局までメールまたはFAXにてご送付**いただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

※大会参加旅程について

下関市PTA連合会では、貸切バスにて下記のとおり前泊の行程で大会に参加いたします。できれば、この行程でご参加いただきますようお願い申し上げます。

○旅程

・<往路：11月10日(金)>

10:00 菊川町アブニール 発 → 10:20 川棚公民館 発 →
11:05 下関駅南口交通広場 発 → 11:15 唐戸バス停(長府方面) 発 →
11:30 城下町長府バス停 発 → 11:50 小月駅 発 → 小月IC →
12:20 美東SA 12:35 → 14:10 宮島SA 14:20 → 福山東IC →
16:00 鞆の浦散策 17:30 → 18:00 福山市内

・<復路：11月11日(土)>

9:30 宿泊ホテル 発 → 10:00~16:00 大会会場(ローズアリーナ) →
福山東IC → 18:00 宮島PA 18:10 → 19:35 美東SA 19:45 → 小月IC →
20:20 小月駅 着 → 20:40 城下町長府バス停 着 →
20:55 唐戸バス停(下関グランドホテル前) 着 →
21:05 下関駅南口交通広場 着 → 21:50 川棚公民館 着 →
22:10 菊川町アブニール 着

○宿泊ホテル

福山プラザホテル(福山市住吉町1-40/TEL 084-923-7511)

※大会参加に関する費用について

- 大会参加費 3,000円は、山口県PTA連合会が負担いたします。
- 貸切バス代・宿泊費は、下関市PTA連合会が負担いたします。
- 貸切バス以外でご参加の場合の交通費、その他飲食代等は各自でご負担ください。

※参加申込書の様式(ワード)は、下関市PTA連合会のウェブサイトからダウンロードできます。
<http://www.s-pta.net/download.html>

日本PTA中国ブロック研究大会 広島県ふくやま大会 参加申込書

送信先 E-mail jimukyoku@s-pta.net

FAX 083-963-4993 <083からダイヤルしてください> (送信できない場合は、286-2215へ)

連合会名	ブロック名
□小P連 / □中P連	ブロック

P=保護者 T=教職員↓

↓貸切バスの方は原則的に全員宿泊です。 **9/12(火)必着**

No.	参加者名	所属校	P・T	性別	年齢 (大会当日時点)	宿泊しない方は×を	喫煙の方のみ○を	宿泊の方で○を	交通手段 (該当の箇所に○を)							自家用車	公共交通機関	
									貸切バスの場合の乗車場所						貸切バス			
									菊川	川棚	下関駅	唐戸	長府	小月駅				
10時00分	10時20分	11時05分	11時15分	11時30分	11時50分													
例	○○ ○○	△△小学校	P	男				○	○									
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		

※自家用車の場合は、できるだけ乗り合わせをお願いします。

(自家用車の台数を県P連に報告しないとイケませんので、乗り合わせで行かれる方がわかるようにしてください)

※各ブロックの参加要請人数は、以下のとおりです。

小P連	中東	中西	南部	東部	北部	菊川	豊田	豊浦	豊北	合計
	2	4	3	7	10	1	1	2	1	31
中P連	中部		南部	東部	北部	豊浦		合計		
	2		3	3	5	2		15		

平成29年度 小P連 ブロック選出理事

ブロック名	校名	氏名	校名	氏名
中東部ブロック	名池	馬場教義	文関	城山真弓
中西部ブロック	生野	恵良健一郎	桜山	前田亜樹
南部ブロック	角倉	郷誠	本村	永野真樹
東部ブロック	小月	若松賢一	王司	伊達美希
北部ブロック	川中	金子潤一郎	一の宮	河村志津香
菊川ブロック	榑崎	飯山宗平	榑崎	前田幸恵
豊田ブロック	西市	岡村浩史	西市	宮城佳代
豊浦ブロック	小串	山崎利幸	川棚	八嶋京子
豊北ブロック	神田	長野敬	粟野	内田雅子

平成29年度 中P連 ブロック選出理事

ブロック名	校名	氏名	校名	氏名
中部ブロック	名陵	磯部達也	日新	東原弥生
南部ブロック	玄洋	植田和公	文洋	川端良恵
東部ブロック	長成	河野浩司	内日	吉富正子
北部ブロック	川中	伊勢崎俊博	吉見	中川宏美
豊浦ブロック	菊川	田邊雄二	菊川	福家真紀

申し込み方法・お問い合わせ

- 各単位PTA
各単位PTAの参加申込票
- 各県の都市P連事務局
都市P連の総括参加申込票
- 各県・市P協(連)事務局
各県・市P協(連)事務局の総括参加申込票
- 広島県PTA連合会事務局
9月20日(水)までに送付



ぼらのまち福山イメージキャラクター ローラ

参加券 は申込後、大会事務局(福山市PTA連合会事務局)より
10月11日(水)までに各県・市P協(連)事務局に**まとめて**送付致します。

■大会に関するお問い合わせ
第47回日本PTA中国ブロック研究大会
広島県ふくやま大会事務局(福山市PTA連合会事務局)
〒720-0812 広島県福山市市街1-10-1 まなびの館4F
TEL 084-931-6210 FAX 084-931-6220
E-mail pta@soleil.ocn.ne.jp

■申込に関するお問い合わせ
広島県PTA連合会事務局
〒732-0052 広島県広島市東区西町2-9-14 コムズ4F
TEL 082-262-1600 FAX 082-262-1602
E-mail hirosima-pta@mx41.tik.ne.jp

交通のご案内 ACCESS MAP

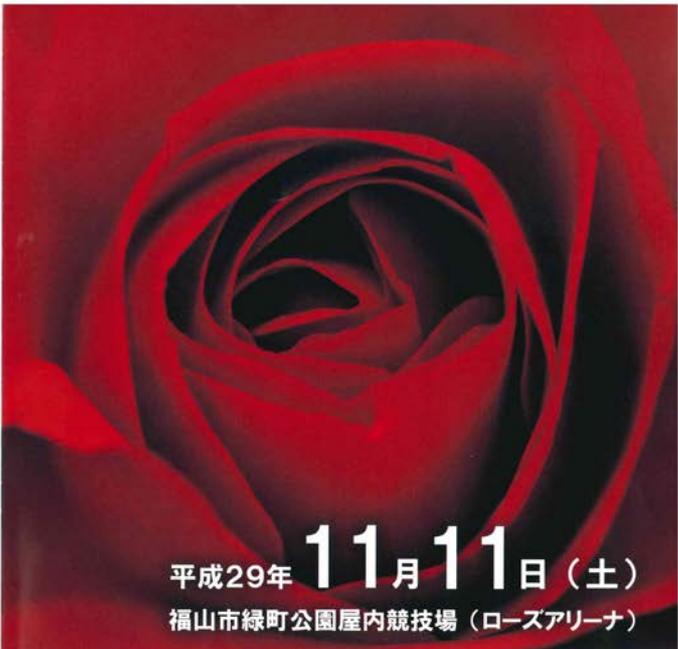
■バスを利用の場合

JR福山駅から約10分
詳しい案内は参加券と一緒に送付します。



■車を利用の場合

山陽自動車道 福山東1.C.から約20分
福山西1.C.から約30分



第47回日本PTA中国ブロック研究大会
広島県 ふくやま大会

「咲かせよう 心の花を！」
～寄りそおう子どもの心に、見直そう大人の心を～



中国ブロックPTA協議会会長 松本 恵行
広島県ふくやま大会実行委員長 建内 博行

中国ブロック

各小中学校PTA会長 様
各小中学校長 様

ごあいさつ

第47回日本PTA中国ブロック研究大会広島県ふくやま大会、「咲かせよう 心の花を!」寄りそおう子どもの心に見直そう大人の心を」のテーマのもと、広島県福山において開催します。
昨年、市制施行100周年を迎えた福山では、次なる100年に向けて新たな歩みを始めたところ。新しい時代を切り開くのは「人」であり、そして、いつの時代にあっても「人」を育てるのは、地域に根差した教育です。複雑で多様化した、変化の激しい今だからこそ、次世代を担う子どもたちが、たくましく生きる力を付けることができるよう、家庭と学校、地域、そして社会全体で大切に育んでいくことが求められています。
子どもたちの元気な笑顔は未来への夢であり、大人たちが楽しく活動する姿は未来への希望です。この大会が、子どもたちを取り巻く環境や、私たち保護者が抱える課題を共に理解し合い、解決に向けて共に考える場となり、共に成長するきっかけになることを願います。
福山市PTA連合会では、おもてなしの心で大会が運営できるよう、準備に取り組みできました。秋のぼらが咲き誇る福山で、多くの皆様のご参加を心からお待ちしております。

大会趣旨

戦後、荒廃した街に涙と汗を流し、人々の心と心を繋ぎ取り、1,000年のぼらの苗木が植えられたのが、福山のぼらのまちづくりの原点。それが今、「ローズマインド」として多くの人に、そして街に根付き、広がり、「100万本のぼらのまち」が実現しました。
ローズマインドとは、「思いやり、やさしさ、助け合いの心」。子どもたち一人ひとりが、そんなローズマインドを抱き、心に自分の花を大きく咲かせて欲しいと願います。
子どもたちを取り巻く環境が年々大きく変化している中、私たち大人は、子どもたちが抱えるさまざまな課題に正面から向き合い、寄り添うことが大切。そして子どもたちが、家庭や学校、地域、社会とのつながりを大切に育み確かなものに結び付けられるよう、自分自身の心を見つめ直してみることも必要です。
「咲かせよう 心の花を!」寄りそおう子どもの心に見直そう大人の心を」の大会スローガンのもと、中国ブロックPTA会員がこぞ福山に集い、子どもたちが未来に向かって大きな花を咲かせられるよう、充実した活動につながる大会になることを願っています。

大会要項

- 主催 中国ブロックPTA協議会・広島県PTA連合会
 - 主幹 福山市PTA連合会
 - 後援 文部科学省・公益社団法人日本PTA全国協議会・広島県・広島県教育委員会・福山市・福山市教育委員会
 - 参加者 中国ブロック各県・市PTA協議会(連合会)のPTA会員、並びに教育関係者約2,000名
 - 参加費 3,000円(昼食代を含む)※参加申込後の取り消しに対し、参加費の返戻はいたしません。
 - 期日 平成29年11月11日(土)
 - 会場 福山市緑町公園屋内競技場(ローズアリーナ) 福山市緑町2-2
- | | | | | | | | | | | | | | |
|------|---------------|------|-------|-------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 9:00 | 9:40 | 9:55 | 10:00 | 10:55 | 11:00 | 12:10 | 12:15 | 13:10 | 13:15 | 13:55 | 14:20 | 15:45 | 15:55 |
| 受付 | オープニングアトラクション | 開会式 | 記念講演 | 昼食 | アトラクション | 山口下町 | 次郎原 | カキコ | ハルカ | 開会式 | | | |

記念講演

講師 齋藤 孝
演題 「人間関係をつくるコミュニケーション力」



写真提供 草思社

プロフィール

明治大学文学部教授、静岡県静岡市生まれ。東京大学法学部卒、日本学術振興会特別研究員、慶応義塾大学非常勤講師、明治大学文学部専任講師・助教授を経て現職。
2001年、著書「身体感覚を取り戻す」で第14回新書賞を受賞。2001年に出した「声に出して読みたい日本語」はシリーズ260万部を超えるベストセラーになった。同著で第56回毎日出版文化賞特別賞を受賞。
その後、専門的教育学、日本語教育などの書籍からビジネス書、コミュニケーションを基礎とした関連書籍を多数執筆。専門は教育学、身体論、コミュニケーション論、教育といものを広くとらえるため、日本語の言語能力やコミュニケーション能力、健康法など、扱うテーマは多岐にわたる。身体を基礎とした心技体を中心としている。また、三色ボールペンをうめた読書・情報活用法や、読書文化の重要性なども提唱している。その教育は本来の専門領域である教員養成以外にもビジネス現場や日常生活など、広く万人にも通じるように提唱されている。
著書累計出版部数は1000万部を超える。NHK・Eテレ「はじめてであそび」総合指導、TBS「情報7days ニュースキャスター」「あさチャン!」MCなど、テレビ出演多数。

パネルディスカッション

テーマ

「心がつながるコミュニケーション」

次世代を担う子どもたちが、たくましく生きる力をつけることができるように、私たち保護者・教職員のコミュニケーション術を探ります

コーディネーター

福山市立大学教育学部 児童教育学科 教授 正保 正恵

パネリスト

福山市教育委員会 教育長 三好 雅章
学校法人真田学園 東林館高等学校 理事長 喜田 敏平
フリーパーソナリティ 渡辺 敏恵
キャッチボールカンパニー代表 崎谷 俊明

アトラクション

福山市立新小学校琴クラブ

新小学校琴クラブは、4年生、5年生、6年生で、地域の川崎かづ子先生に指導していただいで活動しています。主な活動は、毎年4月に行われる「宮城道雄生誕祭」に始まり、新小学校の姉妹校である愛知県岡崎市の「井田小学校歌謡大会」など、多くの機会をいただいで演奏しています。新と時のつなかりを大切に、毎の響きと文化を伝え続けたいというように日々取り組んでいます。

折重由美子&なつぽの

現在福山も販売もされている楽譜「クワイエラ」(鍵盤ハーモニカ)奏者として確立の音楽家。クワイエラをメインにプロフェッショナルとして演奏・制作活動をしているのは、世界でも折重由美子さんただ一人。自身がリーダーを務める癒し系バンド「こゆみこ」でも活動中。楽年編成20周年を迎える。【こゆみこメンバー】小畑原 誠(guitar) 高田 明三 (bass) 古川 祥光 (drums) 山田 浩子 (violin) 広島県福山市出身、幼少の頃より祖父の指導でクラシック音楽で音楽に触れ、幼い頃から、小学校低学年から録音でピアノやダンスにも通じ、高学年からはアクトースクール広島に入学。様々な経験を通じながら「人の心に響くシンガー」を目標に日々音楽に向かっている。